

四十七 ロータリークラブ

ロータリークラブで第一回の卓話（ロータリークラブでは講演といわず、卓話という）をしたのは昭和三十一年五月一日、広島ロータリークラブでした。そのときはまだ、現在のスピードメモ法を見つけ出していないときだったので、本格的な中根式速記について卓話したのです。そのころ広島のYMCAで速記講座を開いてもらっていたのですが、奈良常五郎総主事が自分が会員となっている広島ロータリークラブに来て卓話してほしいといわれて卓話し、初めてロータリークラブを知ったのです。そのときは広島大学学長、森戸辰男先生（後、文部大臣になられた）も会員で聞いておられ、後で「非常に感銘深かった」と言っておられました。

第二回目は昭和三十六年三月七日、日本橋クラブでした。これは元陸軍少将、関東軍の参謀長だった高島辰彦先生のご紹介でした。スピードメモ法を見つけ出したのは昭和三十三年でしたから、ロータリークラブではこの時からずっと今日まで主としてスピードメモ法を中心に卓話を続けているのです。

第三回目は東京北ロータリークラブでした。これは元文部次官、日本芸術院長の有光次郎先生のご紹介